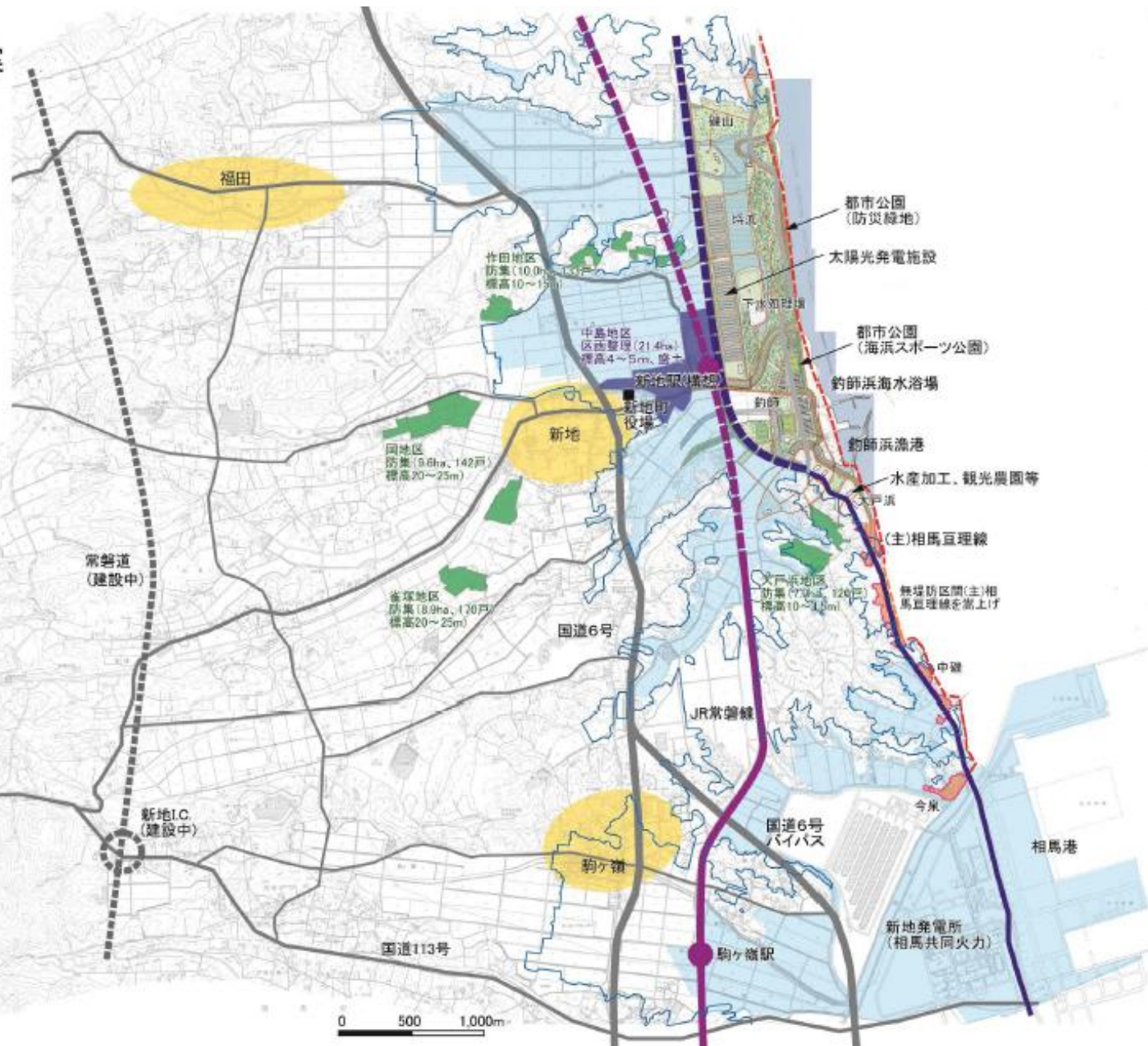


「やっぱり新地がいいね」  
～環境と暮らしの未来（希望）が見えるまち～

福島県 新地町

# 新地町 復興構想案

- 建築基準法39条 災害危険区域
- 移転候補地(防災集団移転促進事業)
- 土地区画整理事業検討地区
- 海岸堤防の復旧(T.P. 7.2)
- 浸水区域
- 標高10m
- 既存国道、県道、主要町道
- 既存の中心的集落



0 500 1,000m

# 新地町の目指す将来像

## □ 「発電ビジネス」で新たな未来を拓くまち

- ・ 火力発電からはじまった本地域の発電ビジネスは、自然エネルギーを活用したエネルギーの地産地消を含めたハイブリッド型発電ビジネスとして、地域に安定的な雇用をもたらす基幹産業に成長する。
- ・ 本地域で生み出される電力を安価に利用できるメリットを活かし、新たな産業誘致することで、地域産業や雇用機会が拡大する。

## □ 人のつながりとICTが支える新しい絆のまち

- ・ 自助・共助・公助による重層的なヒューマンインフラを整備する。
- ・ いつでも、どこでも、だれとでもつながる情報通信インフラにより、ヒューマンインフラの可能性を最大限に引き出すことで、地域の新しい絆を生み出す。
- ・ 新たな社会インフラを活用した、多様な住民ニーズに応えるコミュニティビジネスにより、住民のQOL向上を実現する。
- ・ 新たな社会インフラを基盤とした、民間ビジネスとコミュニティビジネス連携により、地域においてシームレスできめ細かなサービス提供を実現する。

## □ 未曾有の災害に備える安全・安心のまち

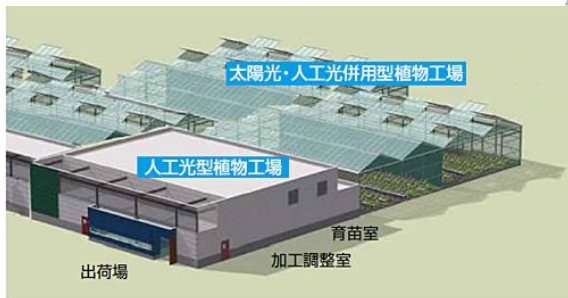
- ・ 将来起こり得る災害時でも、平常時におけるエネルギーの地産地消や新たな社会インフラが住民の安全を担保することで、住民一人ひとりが安心して生活することの出来るまちを実現する。



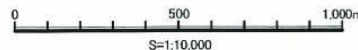
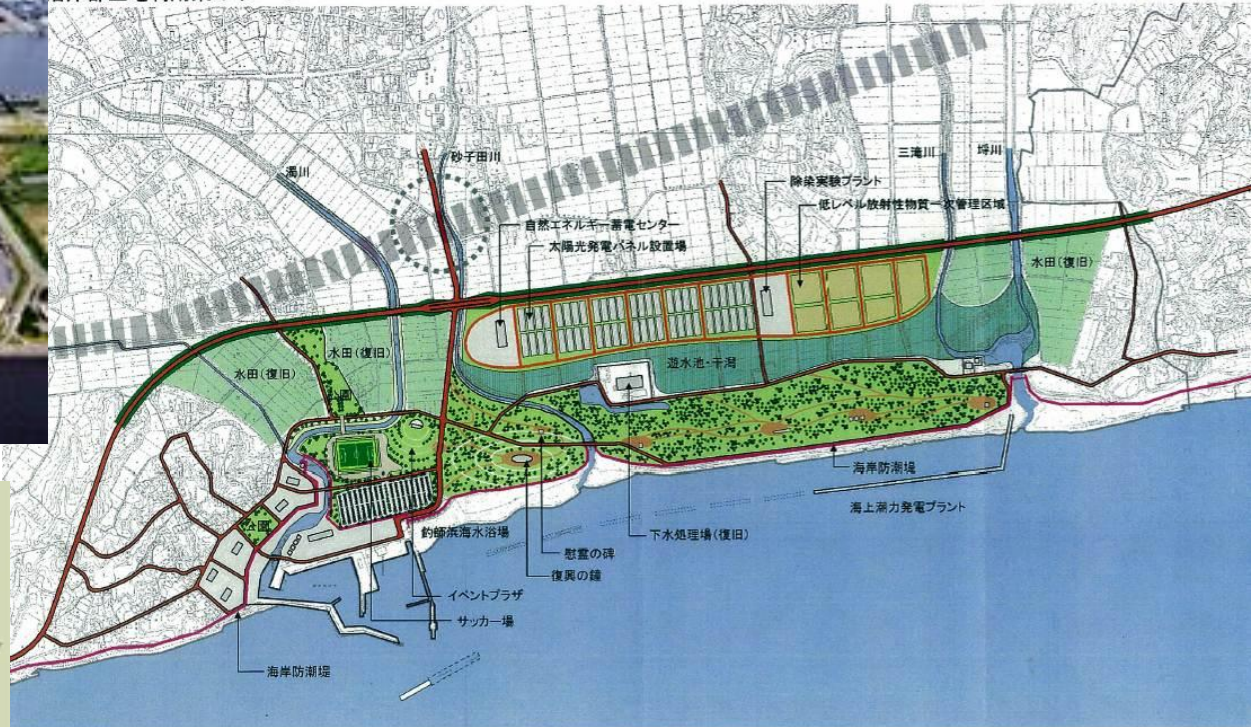
# 太陽光発電施設（メガソーラー）

事業規模は5,000 kWh予定。本町の全世帯の約2 / 3 をカバーすることとなります。また、太陽光パネルの設置面積は、1,000 kWhあたり約1 ha、5000 kWhで約5 haを予定しています。これに周辺の設備等を入れて、約10haを見込みます。

スマートグリッドの普及（地域発エネルギー供給）



沿岸部土地利用案のイメージ



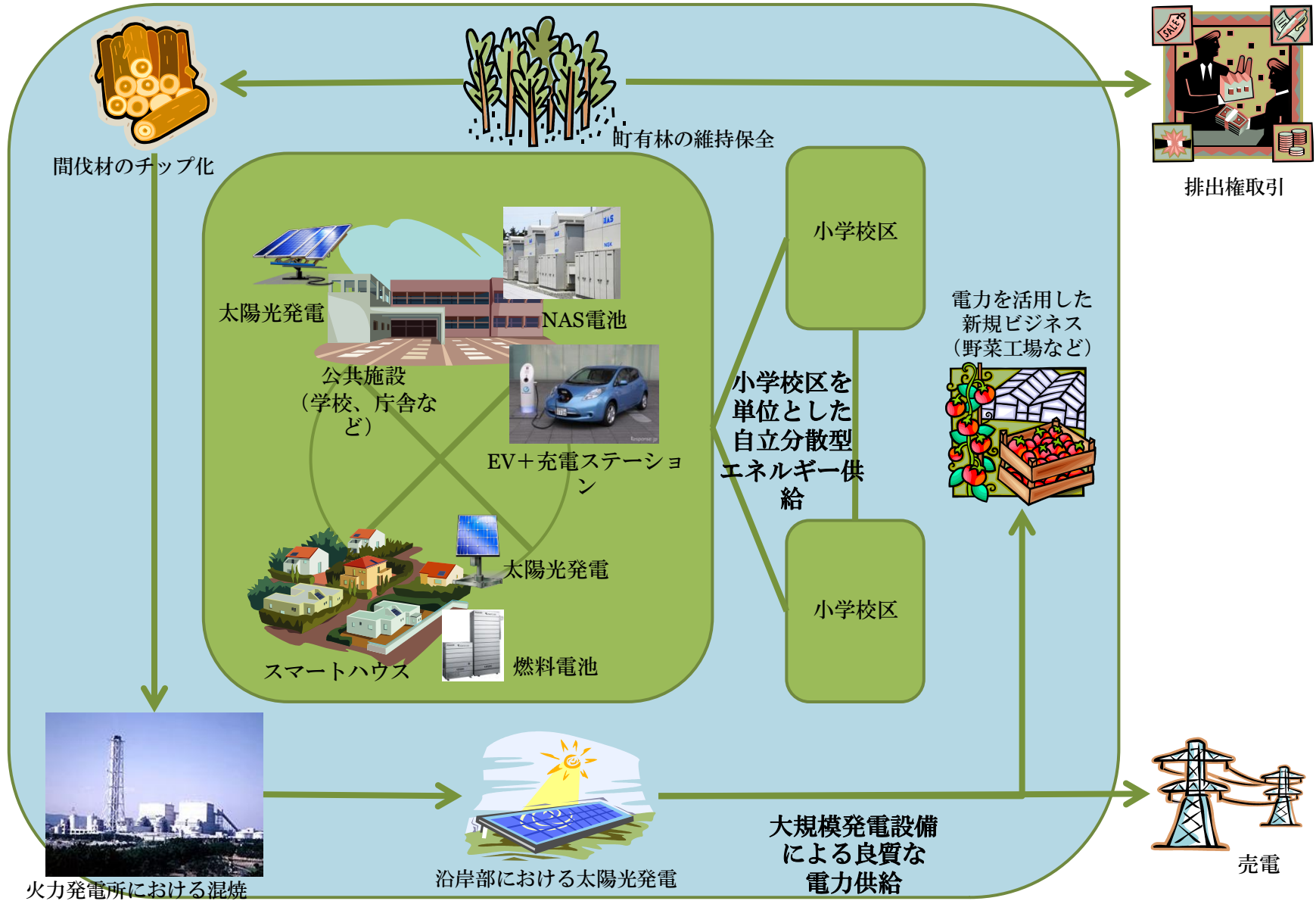


# 太陽光発電が期待される野菜工場

新地町のトマト工場「アグリグリーン」



# 新地町将来ビジョン（環境）



# 新地町将来ビジョン（超高齢化）

